

第一章 財務分析

1. 財務諸表（決算書）の活用

企業は必ず、年に1回以上、財務諸表（決算書）の作成を行います。そこに書かれている数値を活用することで、より高度な経営の意思決定が可能となります（①）。この財務諸表の活用こそが“財務分析”です。

財務分析の指標はオーソドックスなもので30種類程度、専門的なものまで含めると50種類以上の指標が存在します。

これらの指標の中から代表的なものをピックアップし、

- ① 利益
 - ② 回転
 - ③ バランス
 - ④ ヒト
- の4つに分類します。

本講義では、この分類に従って経営者に必要で、かつ、役に立つ指標について学習していきます。

- ① 利益（収益性）・・・捻出された利益の種類を分析します。
- ② 回転（健全性）・・・資産や負債のサイクルを分析します。
- ③ バランス（安全性）・・・資産と負債のバランスを分析します。
- ④ ヒト（生産性）・・・「ヒト」「モノ」「カネ」のヒトについて分析します。



①

財務分析は、以下のようなシーンで活用されています。

- 経営者：経営の意思決定
- 金融機関：融資の判断、融資先の格付け
- 税務署：税務調査前の不審点の抽出
- 投資家：株式投資の判断材料
- 国や地方公共団体：建設業における経営事項審査（公共工事の入札）など



(C) YK planning Incorporated. All rights reserved.

2. 変動費と固定費

費用の性質は2つに分けることができます。「売上と連動する費用」と「売上とは連動しない費用」です。これらはそれぞれ「変動費」と「固定費」と呼びます。

変動費：売上高の増減に比例してかかる費用

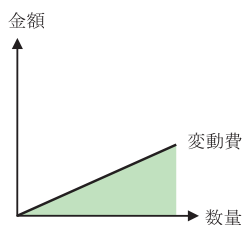
<例>商品仕入・原材料・外注費

固定費：売上高の増減に関係なく、每期一定にかかる費用

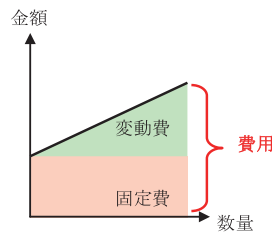
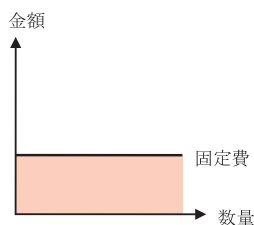
<例>役員報酬・給与・賃借料・リース料 ほか



《変動費》



《固定費》



!

変動費：Variable Cost

固定費：Fixed Cost



この二つの費用は性質が全く異なります。一般的に変動費は固定費に比べて、削減の余地が少ないといわれています。

いわゆる“コストカット”は、ほとんどが固定費の削減を指します。

	5期前	4期前	3期前	2期前	前期
売上高(千円)	515,888	512,929	393,439	401,784	474,468
変動費(千円)	320,213	298,406	204,211	210,435	271,552
固定費(千円)	191,809	211,841	182,607	188,199	201,682

(C) YK planning Incorporated. All rights reserved.

3. 資本と比較する

利益と比較する資本には「自己資本」と「総資本（＝総資産）」の2つがあります。

企業が持っている資本が、利益獲得のためにどれだけ有効活用されているかを示す指標です。

資本と比較する利益には「売上総利益」「営業利益」「経常利益」「当期利益」がありますが、今回は「経常利益」を例にとって学習します。

- ① 自己資本経常利益率（％）＝経常利益÷自己資本×100（高い方が望ましい）
- ② 総資本経常利益率（％）＝経常利益÷総資本×100（高い方が望ましい）

	5期前	4期前	3期前	2期前	前期
経常利益(千円)	3,866	2,682	6,621	3,150	1,234
自己資本(千円)	34,979	37,190	41,378	42,144	42,322
総資本(千円)	389,342	417,181	330,028	349,471	338,199

	5期前	4期前	3期前	2期前	前期
自己資本経常利益率(%)	%	%	%	%	%
総資本経常利益率(%)	%	%	%	%	%

※解答は、16 ページにあります。



＜問題＞

総資産 10 億円、利益 1 千万円の A 社と、総資産 5 千万円、利益 5 百万円の B 社では、どちらが儲ける力があるといえるでしょうか？

＜解答＞

A 社：利益率＝1 千万円÷10 億円＝1%

B 社：利益率＝5 百万円÷5 千万円＝10%

B 社は、利益金額は A 社よりも少ないのですが、効率よくお金を儲けているといえます。

自己資本利益率は、別名 ROE (Return on Equity)、総資本利益率は、別名 ROA (Return on Assets) と呼ばれています。

(C) YK planning Incorporated. All rights reserved.

解答集

4ページの答え

	5期前	4期前	3期前	2期前	前期
売上高総利益率(%)	16.88%	16.72%	22.09%	18.85%	14.97%
売上高営業利益率(%)	0.05%	1.85%	3.44%	1.83%	1.11%
売上高経常利益率(%)	0.75%	0.52%	1.68%	0.78%	0.26%
売上高当期利益率(%)	0.23%	0.43%	1.06%	0.19%	0.04%

5ページの答え

	5期前	4期前	3期前	2期前	前期
自己資本経常利益率(%)	11.05%	7.21%	16.00%	7.47%	2.92%
総資本経常利益率(%)	0.99%	0.64%	2.01%	0.90%	0.36%

6ページの答え

	5期前	4期前	3期前	2期前	前期
総資本回転率(回転)	1.33回転	1.23回転	1.19回転	1.15回転	1.40回転

7ページの答え

	5期前	4期前	3期前	2期前	前期
棚卸資産回転日数(日)	94.21日	73.16日	93.51日	96.12日	76.87日
売上債権回転日数(日)	56.74日	144.76日	120.57日	80.23日	97.18日
仕入債務回転日数(日)	86.30日	101.21日	83.17日	55.34日	68.05日

9ページの答え

	5期前	4期前	3期前	2期前	前期
流動比率(%)	170.44%	160.22%	175.55%	174.56%	178.47%
当座比率(%)	89.96%	103.30%	103.46%	102.17%	108.85%

(C) YK planning Incorporated. All rights reserved.

2. 過去データを活用した経営計画の策定

直近の決算書のデータから、下記の条件で中期(5ヵ年)計画を策定してみます。これまでに学習した要素がすべて凝縮されています。

＜条件設定①＞

- 売上高は毎年5%UPとする
- 変動費は「商品仕入高」「材料費(製造)」「外注費(製造・販売)」とする
- 過去の繰越欠損金はなく、利益に対する法人税等は40%とする
- 売上債権、棚卸商品、仕入債務の増減はないものとする
- 短期借入金、長期借入金の返済はないものとする
- 税引後の利益はそのまま現金の増加と考えることとする

＜条件設定②＞

- 売上高は毎年10%DOWNとする
- ※条件2~6は、条件設定①と同じとする



指導上の留意点

ここから未来会計に誘うための仕掛けが始まります。限定的な条件ですが、「この条件を変えると、どうなるのだろう？」という好奇心を振り起こしてください。

指導のポイント

● 中期(5ヵ年)計画の内容

自社の過去から未来への数値をみてみましょう。

	5%UP	10%DOWN
損益計算書	P. 18	P. 22
貸借対照表	P. 19	P. 23
キャッシュフロー計算書	P. 20	P. 24
財務分析表	P. 21	P. 25

売上高10%DOWN キャッシュフロー計算書

キャッシュフロー計算書

← 過去 未来 → (単位:千円)

	5期前	4期前	3期前	2期前	前期	当期	2年後	3年後	4年後	5年後
借入金										
当期純利益	2,211	4,199	765	178	19,339	35,935	31,901	59,592	78,543	
減価償却費	8,465	5,703	4,265	4,193	3,544	2,513	1,782	1,264	896	
利益・減価償却	10,676	9,902	5,031	4,371	14,794	33,070	49,519	64,323	77,647	
売上債権		-123,234	73,459	41,646	-38,011					
棚卸資産		30,349	2,013	-5,012	5,890					
その他流動資産		-1,349	10,738	-3,299	6,592					
仕入債務		20,257	-52,583	-28,729	27,541					
その他流動負債		15,369	-16,603	39,489	-38,047					
営業キャッシュフロー		-47,928	26,916	-49,125	-31,674	-14,794	-33,070	-49,519	-64,323	-77,647
固定性預金		-2,910	4,308	-1,221	-2,412					
固定資産			-459	-4,263	-1,963					
投資等		-604	-2,029	-2,408	-2,419					
投資キャッシュフロー		-3,514	1,819	-7,892	-6,790					
フリーキャッシュフロー		-51,442	28,736	-41,233	-38,464	-14,794	-33,070	-49,519	-64,323	-77,647
増入金										
その他の固定負債										
資本等										
財務キャッシュフロー										
現金・預金増減		-9,997	-22,117	-944						
現金・流動性預金残高	94,096	32,657	39,237	88,388	48,980	34,186	1,116	-48,409	-112,728	-190,373

指導上の留意点

あくまでも借入金の返済は計画に入っていません。

指導のポイント

各会社ごとに数値が違います。残りの時間に注意しながら、じっくり見てもらいましょう。

格付診断結果

[20X3年度 ~ 20X4年度]

株式会社 財務維新

	20X3年 3月		20X4年 3月	
	診断結果		診断結果	対前期
総合得点(129点満点)	28点		32点	4点アップ
100点換算得点	22点		25点	3点アップ
格付結果	ランク7		ランク6	1ランクアップ
格付種類	リスク高く徹底管理		リスク高いが許容範囲	—
債権者区分	要注意先		正常先	—
貸倒引当率	0.3~4.0%		0.1~0.2%	—
格付金利	5.00%		3.00%	—
支払利息	6,047千円		2,700千円	—

総合格付診断早見表

格付結果	100点換算得点 返済滞納状況	格付種類	債権者区分	貸倒引当率	格付金利
ランク1	90 ~ 100	リスクなし	正常先	0.1 ~ 0.2%	1.25%
ランク2	80 ~ 89	あまりリスクなし			1.50%
ランク3	65 ~ 79	わずかのリスク			1.75%
ランク4	50 ~ 64	リスクはあるが良好			2.00%
ランク5	40 ~ 49	リスクはあるが平均的			2.50%
ランク6	25 ~ 39	リスク高いが許容範囲			3.00%
ランク7	0 ~ 24	リスク高く徹底管理	要注意先	0.3 ~ 4.0%	5.00%
ランク8	返済目途あり	警戒先	要管理先	15.0 ~ 30.0%	—
ランク9	返済困難	延滞先	破綻懸念先	55.0 ~ 75.0%	—
ランク10	返済不能	破綻先	実質破綻先	100%	—

※注意※実際の格付診断基準は金融機関ごとに異なります

《〇〇会計事務所》

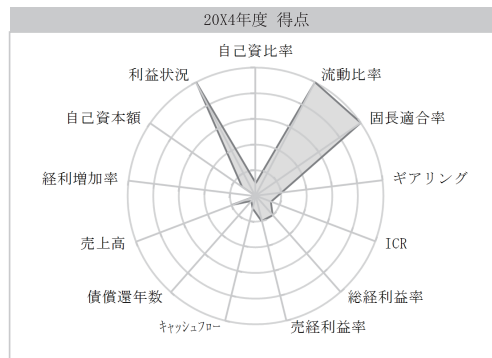
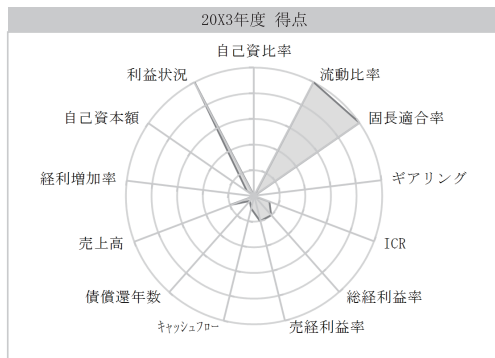
(C) YK planning Incorporated. All rights reserved.

格付診断詳細

[20X3年度 ~ 20X4年度]

株式会社 財務維新

	20X3年 3月		20X4年 3月		
	経営指標	得点	経営指標	得点	対前期
安全性					
自己資本比率	12.1%	0点	19.6%	1点	1点アップ
流動比率	174.6%	7点	178.5%	7点	—
固定長期適合率	14.8%	7点	28.2%	7点	—
ギアリング比率	453.1%	0点	221.2%	2点	2点アップ
インタレスト・カバレッジ・レシオ	1.21倍	2点	1.09倍	2点	—
収益性					
総資本経常利益率	0.9%	1点	0.3%	1点	—
売上高経常利益率	0.8%	1点	0.3%	1点	—
キャッシュフロー額	7,415千円	2点	5,427千円	2点	—
返済能力					
債務償還年数	25.7年	1点	29.5年	1点	—
経営状況					
売上高	401,784千円	1点	474,468千円	1点	—
経常利益増加率	-52.4%	0点	-60.8%	0点	—
自己資本額	42,144千円	1点	72,322千円	2点	1点アップ
利益状況	3期連続黒字	5点	3期連続黒字	5点	—



《〇〇会計事務所》

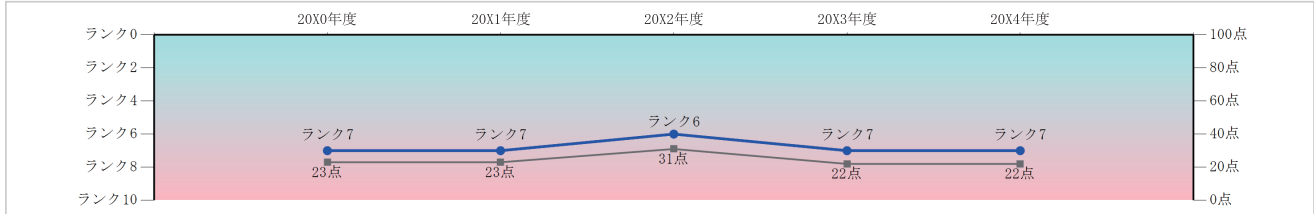
(C) YK planning Incorporated. All rights reserved.

格付診断結果

[20X0年度 ~ 20X4年度]

株式会社 財務維新

	20X0年 3月	20X1年 3月	20X2年 3月	20X3年 3月	20X4年 3月
総合得点(129点満点)	30点	30点	40点	28点	28点
100点換算得点	23点	23点	31点	22点	22点
格付結果	ランク7	ランク7	ランク6	ランク7	ランク7
格付種類	リスク高く徹底管理	リスク高く徹底管理	リスク高いが許容範囲	リスク高く徹底管理	リスク高く徹底管理
債権者区分	要注意先	要注意先	正常先	要注意先	要注意先
貸倒引当率	0.3~4.0%	0.3~4.0%	0.1~0.2%	0.3~4.0%	0.3~4.0%
格付金利	5.00%	5.00%	3.00%	5.00%	5.00%
支払利息	7,258千円	6,759千円	3,330千円	6,047千円	6,000千円



総合格付診断早見表

格付結果	100点換算得点 返済滞納状況	格付種類	債権者区分	貸倒引当率	格付金利
ランク1	90 ~ 100	リスクなし	正常先	0.1 ~ 0.2%	1.25%
ランク2	80 ~ 89	あまりリスクなし			1.50%
ランク3	65 ~ 79	わずかのリスク			1.75%
ランク4	50 ~ 64	リスクはあるが良好			2.00%
ランク5	40 ~ 49	リスクはあるが平均的			2.50%
ランク6	25 ~ 39	リスク高いが許容範囲			3.00%
ランク7	0 ~ 24	リスク高く徹底管理	要注意先	0.3 ~ 4.0%	5.00%
ランク8	返済目途あり	警戒先	要管理先	15.0 ~ 30.0%	—
ランク9	返済困難	延滞先	破綻懸念先	55.0 ~ 75.0%	—
ランク10	返済不能	破綻先	実質破綻先	100%	—

※注意※実際の格付診断基準は金融機関ごとに異なります

《〇〇会計事務所》

(C) YK planning Incorporated. All rights reserved.

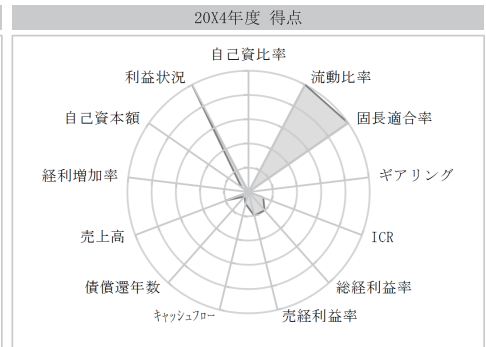
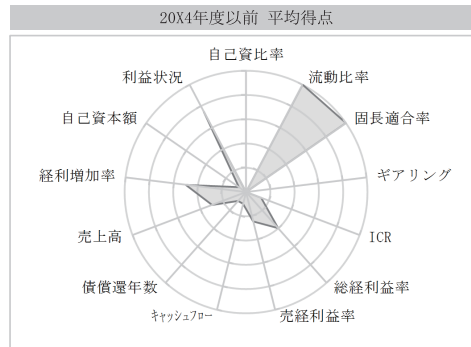
格付診断詳細

[20X0年度 ~ 20X4年度]

株式会社 財務維新

	20X0年 3月		20X1年 3月		20X2年 3月		20X3年 3月		20X4年 3月	
安全性										
自己資本比率	9.0%	0点	8.9%	0点	12.5%	0点	12.1%	0点	12.5%	0点
流動比率	170.4%	7点	160.2%	7点	175.5%	7点	174.6%	7点	178.5%	7点
固定長期適合率	18.2%	7点	14.5%	7点	14.1%	7点	14.8%	7点	15.0%	7点
ギアリング比率	615.1%	0点	551.7%	0点	437.5%	0点	453.1%	0点	448.9%	0点
インタレスト・カバレッジ・レシオ	0.06倍	0点	1.04倍	2点	1.59倍	4点	1.21倍	2点	1.09倍	2点
収益性										
総資本経常利益率	1.0%	3点	0.6%	1点	2.0%	3点	0.9%	1点	0.4%	1点
売上高経常利益率	0.7%	1点	0.5%	1点	1.7%	2点	0.8%	1点	0.3%	1点
キャッシュフロー額	13,672千円	2点	11,147千円	2点	12,324千円	2点	7,415千円	2点	5,427千円	2点
返済能力										
債務償還年数	15.7年	2点	18.4年	2点	14.7年	3点	25.7年	1点	35.0年	1点
経営状況										
売上高	515,888千円	2点	512,929千円	2点	393,439千円	1点	401,784千円	1点	474,468千円	1点
経常利益増加率	76.9%	5点	-30.6%	0点	146.9%	5点	-52.4%	0点	-60.8%	0点
自己資本額	34,979千円	1点	37,190千円	1点	41,378千円	1点	42,144千円	1点	42,322千円	1点
利益状況	その他	0点	3期連続黒字	5点	3期連続黒字	5点	3期連続黒字	5点	3期連続黒字	5点
返済滞納状況	滞納なし		滞納なし		滞納なし		滞納なし		滞納なし	

自己資本比率	・・・ P3
流動比率	・・・ P4
固定長期適合率	・・・ P5
ギアリング比率	・・・ P6
インタレスト・カバレッジ・レシオ	・・・ P7
総資本経常利益率	・・・ P8
売上高経常利益率	・・・ P9
キャッシュフロー額	・・・ P10
債務償還年数	・・・ P11
売上高	・・・ P12
経常利益増加率	・・・ P13
自己資本額	・・・ P14



《〇〇会計事務所》

(C) YK planning Incorporated. All rights reserved.

自己資本比率

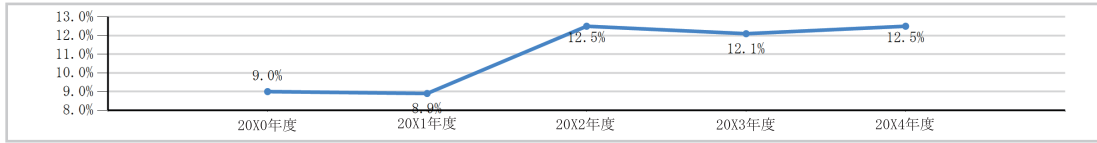
[20X0年度 ~ 20X4年度]

株式会社 財務維新

種類：安全性 計算式：自己資本÷総資産 目安：30%以上

20X0年 3月 20X1年 3月 20X2年 3月 20X3年 3月 20X4年 3月

9.0% **8.9%** **12.5%** **12.1%** **12.5%**



貸借対照表		貸借対照表		貸借対照表		貸借対照表		貸借対照表	
流動資産	流動負債	流動資産	流動負債	流動資産	流動負債	流動資産	流動負債	流動資産	流動負債
356,560	209,194 (うち短借)	392,261	244,819 (うち短借)	308,322	175,633 (うち短借)	325,359	186,393 (うち短借)	313,902	175,887 (うち短借)
固定資産	70,000	固定資産	70,000	固定資産	70,000	固定資産	70,000	固定資産	70,000
32,782	固定負債	24,920	固定負債	21,706	固定負債	24,112	固定負債	24,297	固定負債
	145,169 (うち長借社債)		135,172 (うち長借社債)		113,016 (うち長借社債)		120,934 (うち長借社債)		119,990 (うち長借社債)
	145,169		135,172		111,016		120,934		119,990
繰延資産	自己資本	繰延資産	自己資本	繰延資産	自己資本	繰延資産	自己資本	繰延資産	自己資本
	34,979		37,190		41,378		42,144		42,322

損益計算書		損益計算書		損益計算書		損益計算書		損益計算書	
[製]減価償却費	売上高	[製]減価償却費	売上高	[製]減価償却費	売上高	[製]減価償却費	売上高	[製]減価償却費	売上高
	515,888		512,929		393,439		401,784		474,468
[販]減価償却費		[販]減価償却費		[販]減価償却費		[販]減価償却費		[販]減価償却費	
9,806		8,465		5,703		4,265		4,193	
:		:		:		:		:	
営業利益		営業利益		営業利益		営業利益		営業利益	
252		9,515		13,526		7,341		5,271	
支払利息割引料	受取利息配当金	支払利息割引料	受取利息配当金	支払利息割引料	受取利息配当金	支払利息割引料	受取利息配当金	支払利息割引料	受取利息配当金
7,584	180	9,282	101	8,536	65	6,226	192	5,067	232
経常利益		経常利益		経常利益		経常利益		経常利益	
3,866		2,682		6,621		3,150		1,234	

〇〇会計事務所

(C) YK planning Incorporated. All rights reserved.

格付アップ検討項目

[20X0年度 ~ 20X4年度]

株式会社 財務維新

検討項目	詳細	備考
総資産の圧縮		
<input type="checkbox"/> 非流動性資産科目の整理	流動資産内に非流動性科目が存在していますか？ 存在する場合は、流動資産以外に正しく配置することで流動比率の改善を図れます。	
<input type="checkbox"/> 陳腐化棚卸資産の整理	棚卸資産内に陳腐化したものが存在していますか？ 存在する場合は、除却等によって整理することで総資産の圧縮を通じた改善を図れます。	
<input type="checkbox"/> 遊休資産の処分	固定資産内に遊休資産が存在していますか？ 存在する場合は、売却や処分を通じて総資産の圧縮、固定長期適合率の改善を図れます。	
有利子負債の圧縮		
<input type="checkbox"/> 固定性預金と借入金の相殺	固定性預金を利用した借入金の返済が可能ですか？ 可能な場合は、借入金の返済によってギアリング比率や債務償還年数の改善を図れます。	
<input type="checkbox"/> 運転資金の圧縮	運転資金の圧縮が可能ですか？ 可能な場合は、借入金への依存度を下げることが出来、ギアリング比率や債務償還年数の改善を図れます。	
<input type="checkbox"/> 役員借入による金融機関借入の返済	役員借入を通じて金融機関借入の返済が可能ですか？ 可能な場合は、金融機関借入の返済によってギアリング比率や債務償還年数の改善を図れます。	
自己資本の増加		
<input type="checkbox"/> 代表者借入金による増資	代表者から借入を行い、増資することは可能ですか？ 可能な場合は、自己資本を強化出来、自己資本比率や固定長期適合率の改善を図れます。	
<input type="checkbox"/> 代表者借入の別枠表示	役員借入金(特に代表者からの借入)を長期借入金と分けて計上していますか？ 当分の間、該当代表者が返済の要求をしないということが認められる場合は、自己資本として扱ってもらえる可能性があります。	
償却前経常利益の増加		
<input type="checkbox"/> 値引きの減少努力	値引きを減少させる方策を打ち出していますか？ 値引きを減らすことで、効率的な利益の獲得に繋がり、収益性の改善を図れます。	
<input type="checkbox"/> 仕入・外注単価の見直し	仕入や外注時の単価の精査を定期的に行っていますか？ 単価を減らすことで、効率的な利益の獲得に繋がり、収益性の改善を図れます。	
<input type="checkbox"/> 外注の内製化	外注か内製かの判断基準は明確、適切ですか？ 外注管理を徹底することで、収益性の改善を図れます。	
<input type="checkbox"/> 商品ミックスの検討	利益率の高い商品群の売上に対する割合を向上させることが出来ていますか？ そうすることで、収益性を改善出来、売上ばかりに依存しない収益構造を構築出来る可能性があります。	
<input type="checkbox"/> 収益科目の配置	本来は営業利益に組み込むべき収益が、営業外収益や特別利益になっていませんか？ 損益計算書上で適切に配置することで、収益性の改善を図れます。	
<input type="checkbox"/> 費用科目の配置	本来は営業外費用や特別損失に組み込むべき費用が、営業費用になっていませんか？ 損益計算書上で適切に配置することで、収益性の改善を図れます。	
<input type="checkbox"/> 科目配置の適正性	経常的な費用や収益と、突発的・臨時的なものを正しく精査できていますか？ 損益計算書上で適切に配置することで、収益性の改善を図れます。	
<input type="checkbox"/> 減価償却費の確認	今期計上すべき償却費以外の減価償却費を特別損失で計上していますか？ 損益計算書上で適切に配置することで、収益性の改善を図れます。	
その他		
<input type="checkbox"/> 売上債権の回収努力	滞留している売上債権(売掛金や受取手形)が存在していますか？ 長期間に渡って滞留している売上債権は、不良債権としてみなされる可能性があります。	
<input type="checkbox"/> 役員貸付金の不良債権化回避	滞留している役員(従業員)貸付金が存在していますか？ 長期間に渡って変動していない役員貸付金は、不良債権としてみなされる可能性があります。	

〇〇会計事務所

(C) YK planning Incorporated. All rights reserved.